

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	総合政策研究科
大項目	9 教育研究等環境 (研究科)
中項目	
小項目	9.0.4 教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されているか。
要素	教育課程の特徴、学生数、教育方法等に応じた施設・設備の整備 ティーチング・アシスタント (TA) ・リサーチ・アシスタント (RA) ・技術スタッフなど教育研究支援体制の整備 教員の研究費・研究室および研究専念時間の確保

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 建築士コース等のカリキュラム上必要となる実習環境を整備する	→機器・備品の購入数	A	A	A	A	/
2. 共同研究室の院生利用マニュアルを策定するとともに、利用者の満足度を向上させる	→マニュアル策定の有無、アンケート調査による満足度	D	D	C	B	/
3. 教員に対して外部資金導入を奨励する	→外部資金の獲得件数	B	B	B	B	/

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	総合政策研究科のカリキュラムは2012年度に完成年度に至り、建築士コース等に必要の実習環境の整備は終了している。
目標2	大学院生共同研究室については、2012年度から整備を進め、2013年4月にはほぼ全員の学習スペースを確保するとともに、大学院生の発表の場であるドーナツ・アワーの定期的実施が可能な環境に整備した。2013年度には院生利用マニュアル等の策定を完了したいと考えている。
目標3	2012年度に申請した文部省科学研究費8件であり、新規採用が4件あり、採択率は50%であった。いまだに十分とは言えない現状であるが、共同研究の体制を整備して、引き続き外部資金導入を図っていきたい。
備考	科研費等の採択率は上昇したとはいえ、獲得努力としての申請率は22%と他学部と比較しても低く、全体では必ずしも満足できる状況とは言えない。今後も改善の努力が必要である。